

映画・講演から考える 多文化共生マインド —「バーバリアン狂騒曲」鑑賞—

難民映画祭
REFUGEE FILM FESTIVAL
PARTNERS



第20回難民映画祭(2025)で上映され、大好評だったコメディ映画「バーバリアン狂騒曲」を鑑賞し、上映後に、講義・ワークショップを通して避難民問題と平和の課題、映画のテーマ（違いを乗り越えて、共に地域の一員として共生していくことの大切さ）を考えます。

◆ 日 時：11月 7日（土） 午後2時～午後4時30分

◆ プログラム

上映作品	バーバリアン狂騒曲（フランス映画）	第20回難民映画祭(2025)上映作品
講 演	難民・平和の課題と多文化共生マインド	国連 UNHCR 職員 天沼 耕平氏

◆ 対 象：市内在住、在勤、在学者優先

◆ 定 員：50人（申込順）

◆ 申 込：10月2日（金）10時から、電話（042-421-1125）か申込フォームで保谷駅前公民館へ

◆ 申込フォーム



裏面に映画紹介・講師紹介記載

◆作品紹介

●「バーバリアン狂騒曲（原題：Les Barbares）」

監督：Julie Delpy／フランス／2024 年／101 分／コメディドラマ

ブルターニュ地方の小さな村パンポンでは、地域住民がウクライナのニュースに心を痛み、ウクライナ難民の家族を村に迎え入れようと準備を進めていました。ところが到着したのはシリアからのファイヤド一家。そこで露呈したのは、古くからの偏見でした。住民たちの心優しさは、本当の思いや偏見とともに試されることに。美しい自然の中、伝統を重んじる村で、難民との交流を通じて浮かび上がる受容と偏見の物語が、ユーモアと温かさをもって描かれます。

難民受け入れの現実と地域社会の葛藤をコメディタッチで描いたドラマです。

難民問題を風刺的なユーモアで映し出しながら、共生への問いを温かくなげかけます。

※参考：第 20 回難民映画祭（2025）パンフレット、TACE ACTI 作品紹介



【映画のポスター】

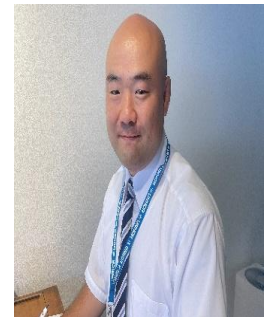
◆講演者

● 天沼 耕平氏（国連 UNHCR 協会職員 広報、教育担当）

東京学芸大学教育学部卒業後、淑徳中学高等学校において 3 年間社会科教員として勤務。その後、児童養護施設の指導員や開発系 NGO の職員などの経験に加え、熊本県の農業法人において農業にも携わる。

2012 年に国連 UNHCR 協会に入職し、「国連難民支援プロジェクト」

関東エリアマネージャーを経て、現在は広報啓発事業／難民高等教育プログラム担当。



● 問合せ先 保谷駅前公民館

〒202-0012

西東京市東町3-14-30 ステアビル4階

電話 042-421-1125

FAX 042-421-7780

E-mail ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp